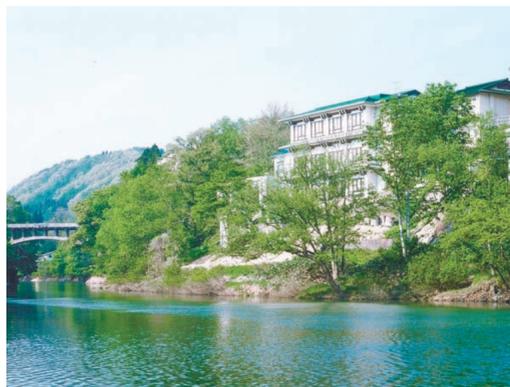


観光立国の実現は、地方(地域)から

おもてなしに磨きをかけて 女将の力で本格復興を



岩手湯本温泉ホテル対滝閣



日本の宿古寮



いわき湯本温泉新つた

当初、青森は原発事故の損害賠償の対象外だった。石澤、福島はともかく、東北5県(青森、岩手、宮城、秋田、山形)が対象外なのは納得できないとして、旅館団体が運動した結果、ようやく12年10月に対象地域になり、今請求を急いでいます。やれやれといった感じですが、しかし、厳しい状況に変わりはない。知恵を絞って、青森県をPRしていかなくてはなりません。

13年はJRDCが4〜6月に仙台・宮城、10〜12月が秋田、14年6〜9月は山形で予定されている。福島はNHK大河ドラマ、岩手はNHK連続テレビ小説「あまちゃん」の舞台として、青森県はそういう外的要因はありますが、新幹線開業に向けて培ってきたさまざまなコンテンツを生かして、このように取り組みが各地区ごとに出てきています。独自に頑張らなければならないと言ったことですね。例えば黒石市は湯湯こ

けしで有名ですが、こけし灯ろうでお客さまをお迎えしています。雪の中でのあたたかい灯りは幻想的でとても素敵です。また、黒石市にはおまじの各所と「中野もみじ」があり、12年夏と秋に美しい自然とおいしい食を同時に味わうことができる「納涼床」と「紅葉の川床」を始めました。京都の川床を真似たものですが、小嵐山黒石温泉郷の新しいイベントとしても評判が良く、恒例行事となりそうです。

黒石、弘前：新たな動きが 旅館は地域経済の受け皿に 山形DC成功へ向け弾みを 笑顔で接し、癒しの場提供

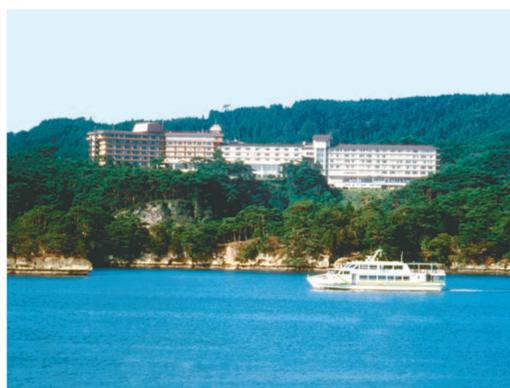
大澤 当会は小さな旅館さんが多いので、逆に行政との連携が欠かせません。行政と一緒に、地域資源を生かした、魅力ある観光地を作ろうと動いています。

13年の展望 そしてこれから

津軽の中心・弘前市ではまち歩き観光に取り組んでいます。歩くと楽しいです。15年の新函館駅開業に向けて、弘前市が中心となり広域観光を目指しています。



黒石温泉郷花祥の庄



ホテル松島大観荘

温泉名人 × るるぽトラベル
http://www.spa.or.jp
温泉名人 検索

心地よい風。
風のプロアー OPEN!
自由な発想でデザインされた快適な空間。
遊び心が詰まった、最上階のおしゃれなお部屋です。
「風のプロアー」の名称は、「益子館に新しい風を吹かせたい。」
そんな思いを込めて名付けました。